

防犯 最前線

地域の見守り 若い世代に期待

第21話

日進団地防災会・防犯パトロール隊



下校時に児童たちと歩く堀さんら＝梨の木小で

新学期が始まった1月10日朝。藤枝町奥廻間の日進団地のちびっこ広場でベスト姿の男性がいつもどおり、児童たちを出迎えた。「おはよう。まだ来ていない子がいるね。おじさんが呼びに行つて追いかけるから、みんな先にいってらっしゃい。」

男性は日進団地防災会・防犯パトロール隊代表の堀幸雄さん(70)。民生委員・児童委員も務め顔なじみが多く、すれ違う一人一人とあいさつする。同会は2011年11月、地

域住民に災害への備えを呼び掛けようと、防災会として設立された。毎年、春秋に防災訓練を開き、住民総ぐるみの訓練に取り組んでいる。メンバーは17人。防犯活動は4年ほど前から始まり、毎月夜間パトロールを実施している。中でも、メンバーの孫世代にあたる児童の見守り活動を熱心に続けている。

本年度の学区再編によって、日進団地はこれまでの東学区から梨の木学区に編入した。学校まで歩く距離は縮まったが、通学路の市道・南山の手線は交

通量が多く、交差点付近には交通指導員や近隣住民も立つ。「低学年の子どもはちよつとした段差でよく転ぶ。環境も変わったので注意して見守っています」

日進団地では昭和40年代から入居が始まり、137世帯が暮らす。住民の高齢化も進み、メンバーの杉山秀雄さん(77)は「若い人たちの力を借りた」と話す。年末には4日連続で夜警を実施し、団地の組長にも参加を呼び掛けたという。

一方、学校と地域の連携に向けて明るい兆しもある。梨の木小学校に昨年2月、地元折戸・米野木・藤枝の各区長、自治会長、PTA、家庭教育推進委員会の代表らが意見交換する「学校地域連携会議」が立ち上がった。子どもの成長を見守りながら、学校が地域コミュニティを維持する新しい取り組みだ。

他にも同団地では最近若い世代の入居も進み、堀さんらは期待を寄せる。「物を買って済むことと、訓練や活動から身に付けることは価値が違う。皆さんが垣根なく気楽に参加できる体制をつくりたい」(広)



交通安全県民大会 日進の12人・1団体に感謝状

地域の交通安全に功労したとして、1月12日、愛知県交通安全推進協議会会長の 大村秀章 知事から感謝状を贈られた市内の受賞者の皆さんが市役所を訪れました。おめでとうございます。

受賞者は次の皆さん(敬称略)。

【民間街頭活動協力者】 赤羽文子、伊東美代枝、勝目潤二、亀井千代子、北村たか、日下部淳二、黒須由紀子、近藤昌可、高平和彦、堀幸雄、山本悦子

【優良交通安全団体】 JA・日進女性交通安全クラブ

【優良交通指導員】 加藤敬子

